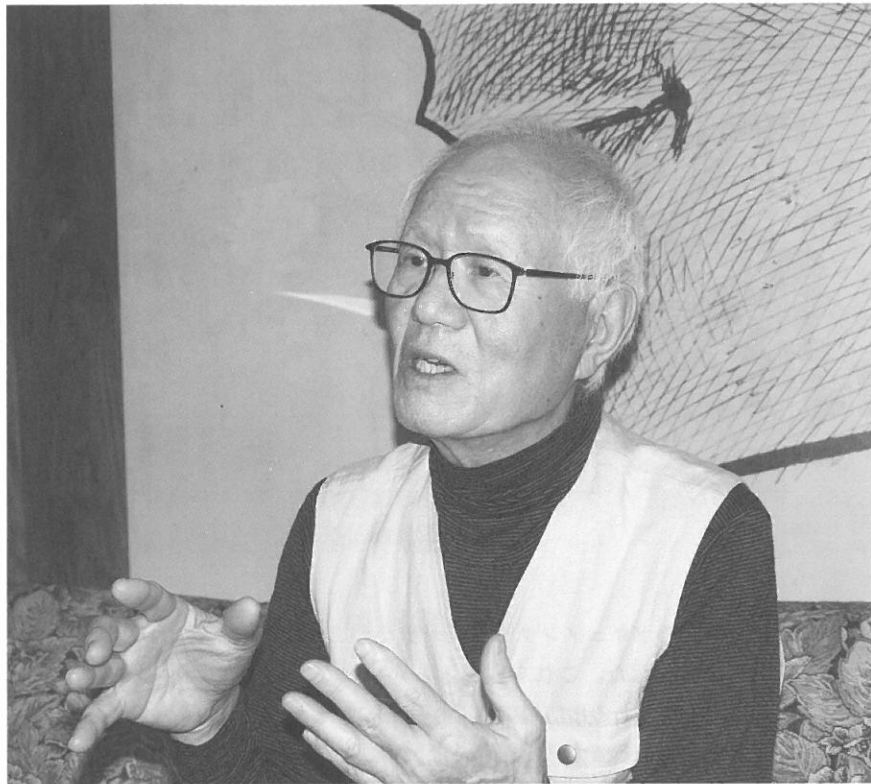




ずっと「戦後」が続きますように

ちばてつやさん（上）

漫画家。1939年、東京生まれ。1956年、貸本向け単行本でデビュー。代表作『あしたのジョー』『おれは鉄平』『のたり松太郎』『あした天気になあれ』など多数。2002年、紫綬褒章受章。文星芸術大学マンガ専攻教授。日本漫画家協会理事長。

を体験した人がたくさんいます。赤塚不二夫さん、北見けんいちさん、古谷三敏さん、高井研一郎さん。戦後50年の1995年には森田拳次さんの呼びかけで「中国引き揚げ漫画家の会」を結成。自分たちは漫画家だから、身をもって感じた戦争の恐ろしさを、マンガや絵にして残そうと、展覧会を開いたり、本にまとめたりしました。

やなせたかしさん（2013年没）は兵隊として戦争を体験されました。お腹がすくというのはどんなにつらいことか。そこから『それいけ！アンパンマン』を描いたと聞いたことがあります。「戦争は大きい、絶対いやだ」というメッセージは、人間として、戦争体験者として引き継いでいきます。

●歴史はつながっている

テレビのニュースやドラマなどで見る戦争は「遠くで起こっているもの」です。でも、実際の戦争では、老人も子どもも目の前にたくさんの人たちが倒れていて、身近な人たちが死んでいたり、悲惨な別れもたくさんあります。

そういう時代があったことが昔の話になってしまっている。そのことが心配です。どんどん土地を広げて、経済的にも大きな力をつける。そんな傲慢な政策によって起こった戦争によって、国民がどんなに悲惨

●家族全員生き残ったのは奇跡

私は昭和16（1941）年、2歳のときに、父親の仕事の都合で、家族と満州に移住しました。

当時日本は、中国東北部に満州国を建国し植民地にしていましたが、昭和20年の敗戦が近づくとともに状況は一変。「日本鬼子」と、中国人が日本人に暴力をふるったり、家を襲ったりするようになり、私たち一

家も怖い思いをしました。

そんなときに助けてくれたのは、中国人の徐さんでした。徐さんは、父の会社の同僚です。自宅の屋根裏にかくまってくれました。そのおかげで零下30度にもなる寒さをしのぐことができました。

昭和21年には日本への引き揚げが始まりました。これで一安心かと言えそうですがありません。ようやく引揚船にたどりついた人たちも、みんな栄養失調でした。なんとか命は



▲『私の八月十五日① 昭和二十年の絵手紙』から
私の八月十五日の会著、今人舎

◀『ひねもすのたり日記』から
『ビッグコミック』（小学館）連載中

©ちばてつや



なめにあったか。いつ日本がまたそうなるかわからないし、歴史は70年前とつながっていることを伝えたい。国と国の間で戦争が起こる。それは外交の失敗だと思っています。経済的な犠牲をはらうようなことがあるかもしれないけれど、なんとか相手の国と話をし、交渉をして、自国の国民にも説明をして、とにかく戦争の役割、そのときに国を動かしている人間が絶対にやらなくてはならないことだと私は思います。戦争というのは最悪の選択なんです。

「国のために戦う」というのはかっこいい言葉かもしれないけれど、戦争だけは絶対にやっちゃいけない！ そのことが、どうしたら伝わるかなあと、いつも考えています。

●頼もしい若者やお母さんの発信

そういうなかで、これまで政治には無関係だった若者たちも「このままでは戦争に進んでしまうかもしれない」と、安保法制反対と声を上げたことはとても頼もしい。

今まで70年以上、戦争しない国で通してきたのに、どうして今さら戦争のできる国にしてしまうのか。なんかいやな雰囲気、いやな方向に歩かされていくような不安な気持ち。ニュースを見たり、ネットで会話をしたりしながら、多くの若者が感じて、今回の行動につながっているよ

うに思います。

今年から選挙権が18歳になります。これはとても意味があることです。政治に関心のある若い人たちは、年齢に関係なく、どんどん発言してほしいです。

先日、若いお母さんがブログで、「保育園落ちた 日本死ね」と書いて、国会でもとりあげられました。「誰が書いたのかわからない」というような答弁をしたら、他のお母さんたちが「保育園落ちたのは私だ」とて声をあげましたよね。

日本人もまだ捨てたもんじゃないぞ、みんな気がついてるぞと、うれしかったです。

●戦後100年を迎えよう

今年の2月、子どものころに住んでいた墨田区から「平和のメッセー」を頼まれました。

私は、イラストをそえて「これからもずっと『戦後』が続きますように」と書きました。戦後80年、戦後90年、そして戦後100年を迎えるときがきたら、どんなにうれしいでしょう。

そして願望として、日本が戦後100年を迎えるときには、戦争はつまらないことなんだと、いろいろな国の人たちが気づいて、世界中で戦争はやめようというようになっていればいいなと思います。

（4月1日収録）